

病院では診察が終わっても医療費の支払いまでに時間がかかってしまうことがある。山梨県立中央病院は会計にかかる時間を短縮しようと、医療事務業務の直営化を推進。業務委託していた頃に比べて効率化に向けた動きが活発化し、外来

算をする業務を病院の医療事務職員が担うようになった。委託時代、別々の職員が

窓口と計算を行っていたが、直営後は流動的に対応。どちらかの業務負担が増した場合、臨機応変に人員を

えるシステムにして、入院患者が退院日当日に会計できる割合を約6割まで高めた実績があった。

も決められたこと以外は簡単にはできなかった」と、契約上の壁を指摘。名実ともにチーム医療の一員となり、医師や看護師ら医療従事者との連携がより強まった。

医療事務業務を直営に

会計の待ち時間短縮化

やりくりして作業の効率化を図った。

当時、中心となって準備を進め、現在も入院医療事務業務の責任者を務める医

は患者が立って並んでいる。「列が伸びると患者に負担をかけてしまう」。その感じた現場からの発案で



患者の会計待ち時間短縮、退院時の即日会計率向上につながっている。

同病院は昨年5月、外来患者の会計業務を直営に切り替えた。診察後に患者に渡される処方箋や予約表などが入ったファイルから会計に必要な書類を受け取る窓口業務と医療費の計



患者の利便性向上を図るため、会計業務の効率化を進めた岡部初美さん(中央)、長田由美さん(右)、野田美智子さんの3人

＝甲府、県立中央病院

者先に先駆けて、入院患者の会計業務も直営に変更。切り離されていた複数の作業を医療事務職員が単独で担

計直営化をともに取り組んできた長田由美さん、野田美智子さんが昨年度外来会計の担当となり、外来会計直営化に力を尽くした。

が実を結び、昨年度の外来会計の待ち時間は平均12分となり、初めて20分を切った。3人は「会計の待ち時間の煩わしさを少しでも減らしていけるように今後も取り組みを進めていきたい」と話している。

山梨県立中央病院 外来会計平均待ち時間



3人はもともと委託先の職員だったが転職して同院に入った経歴を持つ。「委託の場合、病院から直接指示を受けることはできない。反対に私たちが病院のため、患者のためと思って

26日に掲載します。